

20240329 運輸労連関東ブロック連絡会議

運輸労連関東ブロックは、29日、運輸労連東京都連会館にて、『第3回関東ブロック連絡会』を開催し、関東の仲間17名が出席、運輸労連第57回定期大会準備委員会の立ち上げや、今後の予定について確認しました。



飯島代表代行より、春闘についてふれ「中小組合が闘いの真っ最中、各機関にてバックアップをお願いします」と挨拶がされました。

協議事項について山本事務局長より提案。

前回からの課題である『安全シンポジウム』の開催方法及び開催のあり方について議論しました。同時に『運輸問題研究集会』の内容及びあり方についても、各機関に持ち帰っていただき、各機関内で議論していただく事となりました。

また、前回の連絡会の内容についても、レジュメに入れることが委員より要請されました。

第57回定期大会の運営として準備委員会を立ち上げる事が確認され、内容については準備委員会にて行う事が確認されました。



連合2024 平和行動 in 沖縄への参加要請について、直接加盟組組合より選出する、動員者を各機関にて順番に調整する事が確認されました。

終了

=====

『安全シンポジウム』『運輸問題研究集会』の開催の在り方。

この議題は、昨今の物価高とインバンドによりホテル（開催場所）の値段が上がっている事から「2つの会議体を一つに」という提案から議論がスタートしている。まずは組合員が出席しやすい曜日を設定しなければいけない。WEBの活用も議論されている。

労使で出席可能な『安全シンポジウム』労使での出席は組合にとっても企業と情報共有が図れることがメリットとして挙がっている。ただの学習会的なものではなく労使でパネラーとなり違った目線から『安全』について意識を深めてもらいたい。